

令和5年度教育研究活動報告書

氏 名	森本 幾子	所 属	経済情報学部経済情報学科
学 位	博士（文学）	職 位	准教授
専門分野	日本近世・近代の流通経済史		

Ⅰ 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学 部	経済史、日本経済史、地域経済史、日本歴史の流れ、基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰa、専門演習Ⅰb、専門演習Ⅱa、専門演習Ⅱb、尾道学入門（オムニバス15回のうち1回担当）
大学院	日本経済史特論、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ
Ⅱ 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）日本近世・近代期の流通経済史	
（2）幕末期広島藩の研究	
（3）近世後期の文化交流史	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R5・R4・R3	
R5 〈論文〉「近世後期尾道における消費活動と旅人―来訪者の受容と地域社会の変容―」 〈単著〉（『尾道市立大学経済情報論集』第23巻第1号（2023年6月、101頁～140頁） 〈学会発表〉「シンポジウム 近世近代の尾道港とその管理」コメンテーター （芸備地方史研究会大会、2023年9月16日） 〈研究報告〉「令和五年度尾道市立大学学長裁量研究費による「尾道の「顔」―町としてのイメージ形成」 ミニ報告会」（『尾道文学談話会会報』第14号、2024年3月）	
R4 〈論文〉「幕末・明治期阿波国廻船の経営と奉納」 〈単著〉（『K―特集 海道を行く』5号、特定非営利活動法人 Knit-K、2023年3月） 〈資料〉『新尾道市史 資料編 近世』（尾道市史編さん委員会、2023年3月 *第九章「産業の発達と展開」、 第十二章「生活・文化」を担当。）	
R3 〈単著〉 森本幾子『幕末・明治期の廻船経営と地域市場 - 阿波国撫養山西家の経営と地域 - 』（清文堂出版、2021年、ISBN:978-4-7924-1482-5 638頁） 〈報告要旨〉「尾道町の古文書を読む―江戸時代の暮らしを感じる―」 （『尾道市立大学地域総合センター叢書No.11』2021年、12月）	
R2以前の主な研究業績	
（1）〈論文〉「幕末期中央市場の金融機能と商人経営―阿波国撫養山西家の廻船経営から―」 〈単著〉（『尾道市立大学経済情報論集』第20巻・第1号、2020年7月、105頁～140頁）	
（2）〈論文〉「松江藩の尾道廻米」 〈単著〉（松江市史編集委員会編『松江市史 通史編 近世Ⅱ』2020年3月）293頁～303頁。	
（3）〈論文〉「近世近代以降期の商人資本と地域経済―山西家による肥料代金決済をめぐる―」 〈単著〉（『徳島発展の歴史的基盤―「地力」と地域社会―』雄山閣出版、2018年）247頁～270頁。	
（4）〈論文〉「19世紀における阿波商人の経済活動と奉納」 〈単著〉（『徳島地域文化研究』第16号、2018年）60頁～73頁。	
（5）〈論文〉「天保期広島藩政と二葉山御社造営事業―太祖浅野長政の「神格化」―」 〈単著〉（『芸備地方史研究』第307号、2017年）1頁～22頁。	
学会、所属団体における活動 （本年度を含む過去3年間の研究業績） R3・R4・R5	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
大阪歴史学会、地方史研究会、社会経済史学会、徳島地方史研究会、徳島地域文化研究会、芸備地方史研究会	

令和5年度教育研究活動報告書

氏 名	森本 幾子	所 属	経済情報学部経済情報学科
学 位	博士（文学）	職 位	准教授
専門分野	日本近世・近代の流通経済史		

Ⅳ 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1）城下町広島の世界遺産「婚礼にみる浅野家と徳川将軍家との関係」 （2023年9月、於：広島市東区総合福祉センター大会議室）			
（2）尾道市立大学教養講座（第2回）「地域社会が変わるときー江戸時代尾道を訪れた旅人の役割ー」 （2023年10月、於：尾道市役所2階多目的室）			
（3）鳴門市公民館短期講座歴史文化講座（第2回）「山西家の経営と撫養の経済」 （2023年11月、於：鳴門市板東公民館）			
（4）尾道ロータリークラブ例会（12月）「尾道を訪れた医療関係者たち」（2023年12月、於：尾道国際ホテル）			
（5）〈公開研究会〉「メディア化される尾道ー近世近代を中心にー」（学長裁量教育研究費による共同研究発表 「尾道の町の顔」）公開研究会（研究代表者：藤本真理子（日本文学科准教授） 共同研究者：吉田幸（日本文学科講師）・森本幾子（経済情報学科准教授）、2024年2月、 於：尾道商業会議所記念館2階）			
（6）「尾道の町の顔」ポスター展示（まちなか文化交流館（Bank）、2024年2月29日～3月9日）			
公開講座	4 回		
講演会	1 回		
その他（ラジオ出演、公開研究会の ためのフィールドワーク、勉強会）	3 回		
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入） 上記のほか、エフエム尾道（ラジオ）には、2回（7月、9月）ほど出演し、尾道で開催される研究会や講座の案内を行った。また、「尾道市立大学教養講座第2回「江戸時代の尾道、「旅人」の役割」」の内容が、『尾道新聞』（No.1378、2023年10月21日付）に掲載された。さらに、今年度初めての試みとして、学長裁量教育研究費による共同研究発表「尾道の町の顔」（2024年2月28日）を実施するとともに、その内容に関するポスター展示を同時に行い、尾道市民、観光客などに対して尾道の歴史の一端を伝えた。公開研究会の事前の勉強会や吉源酒造（尾道市）のフィールドワークでは、共同研究者である教員のほか、当該教員のゼミ学生が参加し、学科を越えて学生同士が交流する機会となった。			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市史編さん委員会	委員	1回
	尾道市史編集委員会専門部会（近世委員）	委員	2回
	尾道市文化財保護委員会	委員	1回
	尾道市まちなみ形成推進委員会	委員	1回
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（2）尾道市以外	三原市文化財保護審議会	委員	1回